




審査結果報告書

2022年2月3日

主査氏名 岡本浩嗣 

副査氏名 宮塚 健 

副査氏名 石野信行 

副査氏名 三枝 信 

1. 申請者氏名 : DM18007 片峰 正皓

2. 論文テーマ :

Familial hypercholesterolemia and vulnerability of coronary plaque in patients with coronary artery disease
(冠動脈疾患患者における家族性高コレステロール血症と冠動脈プラークの脆弱性)

3. 論文審査結果 :

申請者は冠動脈疾患患者において、家族性高コレステロール血症(FH)が冠動脈のプラークの脆弱性に及ぼす影響を検討した。方法として、冠動脈内の画像診断に光干渉断層法(OCT)を用いた症例をFH群と非FH群に分けて、冠動脈狭窄、脆弱性の指標に脂質性プラーク、マクロファージの集積、コレステロール結節、微小血管、薄い皮膜(TCFA)を用いた。結果として、FH群では非FH群に比較し、左冠動脈主幹部病変が多く、マクロファージの集積が多い傾向が見られた。また、FH群内での検討ではLDL-C値の上昇に伴い、脂質性プラークとTCFAの有病率が有意に増加した。以上、OCTを用いて、冠動脈主幹部狭窄と冠動脈プラークの脆弱性がFH患者で起こっていることを見出し、早期治療を示唆した臨床的にも価値の高い論文であり、学位論文に相応しいと判断された。加えて、審査における発表と質疑応答も適切であり、審査委員の全員一致で学位審査結果は合格と判断された。